

新しい左京区基本計画づくり

ニュースレター 第1号

発行日 平成21年1月5日
発行者 左京区役所区民部総務課
Tel 771-4235
Fax 771-6900

新たな左京区基本計画づくりがスタートしました

左京区役所では、左京区のまちづくりの指針である「左京区基本計画」(平成13年1月策定)が、平成22年12月に終了するため、平成22年中に新たな計画を策定する予定です。

策定に当たっては、区民の皆様へ素案作成前の段階から参画していただくなど、区民の皆様の左京区への思いを生かした計画づくりを進めます。

第1回 左京区 住民円卓会議を開催しました！

12月3日にアピカルイン京都において、市政協力委員や自治会など、区内の各地域で活躍している方々が円卓を囲んで語り合う「左京区 住民円卓会議」を開催しました。

会議には、45名の方が参加され、南部、中部南、中部北、北部の4グループに分かれて、美しい自然に恵まれた「歴史・文化・学問のまち」左京区について話し合っていました。

グループ討議の前半のテーマは、「まちの現状を把握しよう～このまちの好きなところと不満なところ」でした。

地図を広げて場所を確認しながら、いろいろな思いを出し合うことで、地域の「いいところ」や「今不満に思っているところ」を整理していただきました。

前半での整理を踏まえて、後半のテーマは、「まちの特色や個性を考えよう～このまちの人の動き」でした。

地図で場所を確認しながら、地域に、どのような人々がどのように動いているのかを考えていただきました。いろいろな人々の「動き」の考察を通して、それぞれの地域の特徴についてまとめていただきました。

各グループでつけた題や内容を発表することにより、他の地域の現状や特徴を知る機会となり、お互いの理解を深められたのではないのでしょうか。各グループでの話し合いの内容は、2ページから6ページを御参照ください。

プログラム

- グループ討議①
まちの現状を把握しよう
～このまちの好きなところと不満なところ
- グループ討議②
まちの特色や個性を考えよう
～このまちの人の動き
- 発表



参加者の皆様には、短い時間であったにもかかわらず、活発な話し合いをしていただき、誠にありがとうございました。

第2回は、第1回の話し合いを踏まえて、地域のこれからをテーマに、平成21年2月頃に開催する予定です。

円卓会議以外でも、広く区民の皆様の御意見をいただくため、平成21年1月15日までアンケートを実施しています。詳しくは、区役所や出張所に配架しているチラシやホームページ (<http://www.city.kyoto.lg.jp/sakyo/page/0000053056.html>) を御覧ください。

討議① まちの現状を把握しよう～このまちの好きなところと不満なところ

「自然豊かで静かな環境、そして文化施設や観光名所が集中している良さがある一方で、少子高齢化や住宅の老朽化、家が密集している」などと話し合いました。

話し合った主な内容

《好きなところ》

- ・自然が豊かである。
- ・静かで住みやすい。
- ・文化施設が多い。
- ・利便性が高い。
- ・観光名所が多い。
- ・隣の人の顔が見える。
- ・交通が便利である。
- ・散策ができる。
- ・文教のまちである

《不満なところ》

- ・車が多い。
- ・哲学の道の整備が遅れている。
- ・寺の拝観料が有料である。
- ・集合住宅でゴミを分別しないまま出す人がいる。
- ・道路が狭く、整備が進んでいない。
- ・電線地中化ができていない。
- ・観光客が多すぎて迷惑となっている。
- ・少子高齢化が進んでいる。
- ・自転車が多く危険である。
- ・住宅の老朽化が進んでいる。

題をつけると・・・

話し合いの中で、

“歴史・文化・観光のまち、密集のまち”

という題をつけました。



討議② まちの特色や個性を考えよう～このまちの人の動き

「良い面も悪い面も含めて、学生や観光客が日夜活動している」などと話し合いました。

話し合った主な内容

《朝》

- ・お坊さんが寺の鐘を突いている。
- ・自転車の学生が多い。

《昼》

- ・観光客が食べながら歩き、ゴミを散らかす。
- ・観光客に学生・女性グループが道案内をしている。
- ・学生が勉学に励んでいる。
- ・高齢者が公園でグランドゴルフをしている。

《夜》

- ・人通りもなく、静かである反面、怖い。
- ・コンビニで騒ぎ、ゴミを散らかす人がいる。
- ・学生がうろうろしている。

《その他》

- ・猿、鹿、猪が出没する。

題をつけると・・・

話し合いの中で、

“お年寄りと学生と観光客の共生を目指す安全のまち”

という題をつけました。

南部

討議① まちの現状を把握しよう～このまちの好きなところと不満なところ

「社寺や緑が多く、景観が良い一方で、観光客が多く、多くの狭い道路がある」などと話し合いました。

話し合った主な内容

《好きなところ》

- ・植物園が近く、植物が多い。
- ・地下水がおいしい。
- ・社寺が多い。
- ・自然が美しい。
- ・緑が多い。
- ・大阪から帰るとほっとする。

《不満なところ》

- ・マンションが乱立している。
- ・観光客が多い。
- ・住宅の住人のマナーが悪い。
- ・交通量が多い。
- ・道が狭い。

題をつけると・・・

話し合いの中で、

“社寺や緑が多いまち 災害に強いまちづくりを望む”

という題をつけました。



中部南

討議② まちの特色や個性を考えよう～このまちの人の動き

「閑静な住宅街が広がっているが、高野交差点以北のラーメン街道と呼ばれる場所では、夜遅くまでにぎやかであること、地域住民が学校で活動しているなど、活発な動きがある」などと話し合いました。

話し合った主な内容

《朝》

- ・地域の大人が小学生に本を読み聞かせている。
- ・観光客や中高年が運動をかねて神社にお参りする。

《昼》

- ・外国人が多く来る。
- ・大人がスーパーに買い物に出かける。

《夕方》

- ・小中学生は、下校後、公園や道路にほとんど見かけない。

《夜》

- ・学生が遅くまで飲食している。
- ・学生や観光客が並んでラーメンを食べている。
- ・滋賀県からの通勤の車が多い。
- ・消防団が定期的に見回りをしている。

《休日》

- ・多くの人たちが観光している。
- ・ジョギングしている。
- ・親子たちがカメ石で遊んでいる。
- ・土曜午前には小学校体育館で剣道の稽古をする。

題をつけると・・・

話し合いの中で、

“静かなまちだが・・・動きがある不思議なまち”

という題をつけました。

討議① まちの現状を把握しよう～このまちの好きなところと不満なところ

「比叡山の麓にあり、風光明媚であることや、同志社小中学校をはじめとして地域に12の学校がある文教のまちである一方、狭い幹線道路が多くある」などと話し合いました。

話し合った主な内容

《好きなところ》

- ・緑や紅葉が美しい。
- ・地域の連携が強い。
- ・人情に厚く、協力的である。
- ・文教施設が多い(大学・高校・中学校・小学校・幼稚園)。
- ・自然が残っている。
- ・子どもたちを育てるのに最高の地域である。
- ・左京区役所が新しくできるのが楽しみである。

《不満なところ》

- ・開発が多い。
- ・交通の便が悪い。
- ・横断歩道が危ない。
- ・車が多く、交通事故が多い。
- ・通過交通が多い。
- ・歩道が狭い。
- ・民家が少ないところは街灯が少なく防犯が不安である。
- ・地域の連携が薄い。
- ・岩倉川で分断され、東西の交流がしにくい。

題をつけると・・・

話し合いの中で、

“自然と文化と交通問題のあるまち”

という題をつけました。



中部北

討議② まちの特色や個性を考えよう～このまちの人の動き

「文教施設が集中しており通学者が多いことや、児童館ですこやか教室が開かれて、憩いの場ができていていること、宝ヶ池公園では多くの人が運動している」などと話し合いました。

話し合った主な内容

《朝》

- ・病院に通院する。
- ・高齢者は買い物に行く。
- ・若い人は、車やバスで通勤、通学をする。
- ・早朝、宝ヶ池公園でジョギングや散策をする。
- ・すこやか教室、学校サロンに通う。
- ・北稜高校に自転車通学する。

《昼》

- ・昼間は文教のまち、学生のまちである。
- ・工繊大の学生は野球やサッカーをしている。
- ・小学生は小学校の田んぼで田植えなどの経験をする。
- ・お母さんが公園デビューする。
- ・観光客が多くいる。
- ・児童館で教室が開かれている。

《夜》

- ・眠るまちである。
- ・夜間人口は少ない

題をつけると・・・

話し合いの中で、

健康すこやか・文教(通学・農業体験)・公園エリアのまち

という題をつけました。

討議① まちの現状を把握しよう～このまちの好きなところと不満なところ

「自然環境の良さや、人とのつながりの良さがある一方、道路の状態が悪く、少子化が進んでいる」などと話し合いました。

話し合った主な内容

《好きなところ》

- ・静かである。
- ・コミュニティが良い。
- ・自然が豊かである。
- ・四季の自然が美しい。
- ・村としての文化が守られている。
- ・子どもを育てるのに最高の地域である。
- ・空気がおいしい。

《不満なところ》

- ・観光化による自然破壊がある。
- ・ライフラインが未整備である。
- ・コミュニティが希薄化している。
- ・道路が狭い。
- ・交通が不便である。
- ・少子高齢化が進んでいる。

題をつけると…

話し合いの中で、

“自然豊かで少子化が進んでいるまち”

という題をつけました。



北部
(花脊峠以南)



討議② まちの特色や個性を考えよう～このまちの人の動き

「市内中心部に勤めに行く人が多い中で、高齢者や主婦たちは、地域で活動しており、自然が多く、牧歌的である」などと話し合いました。

話し合った主な内容

《朝》

- ・高齢者が病院やデイケアに行く。
- ・お父さんが仕事に行く。
- ・主婦が買い物に行く。
- ・子どもを保育園に送る。

《昼》

- ・地域の仲間が鞍馬石を切り出す。
- ・高齢者が農作業をしている。
- ・観光客が散策している。
- ・高齢者が井戸端会議している。

《休日昼》

- ・ハイカーが神社でお弁当を食べる。
- ・若者が散策している。
- ・お父さんが家庭サービスをする。

題をつけると…

話し合いの中で、

“お年寄りが常に楽しく元気に活躍するまち”

という題をつけました。

北部グループ(花脊峠以北) — 花脊・別所・広河原・久多

討議① まちの現状を把握しよう～このまちの好きなところと不満なところ

「自然環境の良さや住民のつながり、新しい花背小中学校が好きである。その一方で、花脊峠をはじめとする道路事情の悪さや、携帯電話が通じない、地上波デジタル放送が映らない不安がある」などと話し合いました。

話し合った主な内容

《好きなところ》

- ・自然環境が多い。
- ・新しい学校ができた。(花背小中学校)
- ・住民が優しい。
- ・定住化促進を行っている。

《不満なところ》

- ・通信(地上デジタル放送、携帯)が悪い。
- ・空き家が多い、子どもが少ない。
- ・働くところが少ない。
- ・道路が悪い。
- ・公共交通がない。

題をつけると…

話し合いの中で、

“同じ自然環境の地域 ～ココで暮らす・イマを暮らす～”

という題をつけました。



討議② まちの特色や個性を考えよう～このまちの人の動き

「市内中心部に通勤する人がいる一方、昼にはテレビを楽しむ高齢者が多く見られる地域である」などと話し合いました。

話し合った主な内容

《朝》

- ・市内へ出勤する。
- ・子どもたちはスクールバスで通学する。
- ・はなせ診療所へ行く。
- ・花友はなせのデイサービスの送迎がある。

《昼》

- ・高齢者は畑仕事、もしくはテレビを見る。
- ・主婦は家事や畑仕事をする。
- ・福祉の会へ行ったり、買い物に行ったりする。

《夜》

- ・事務所が少ないので、通勤者は夜だけの生活をする。

《その他》

- ・冬以外は、観光客や登山客がやってくる。

題をつけると…

話し合いの中で、

“高齢者が多くお昼にテレビを見る平和な地域”

という題をつけました。